

おおむた自慢

ありがとう！若い力で 大牟田にエール ～ 困難に負けず 頑張る高校生 ～

新型コロナウイルス感染症の拡大、令和2年7月豪雨災害と相次ぐ困難に見舞われる中、頑張っている市内の各高校部活動。その中から3つの部活動をインタビューしました。

大牟田高校 駅伝部 ～ 敢為邁往(かんいまいおう) ～

昨年12月20日、第71回全国高等学校駅伝競走大会で見事入賞(8位)を果たした大牟田高校駅伝部。

全国大会出場43回目、優勝5回、準優勝9回という輝かしい歴史を持ち、市民の大きな期待とそのプレッシャーをばねに29名の部員たちは練習に励んできました。令和2年7月豪雨災害、校内の新型コロナ感染拡大で全く練習できなかった2週間の隔離生活など、様々な逆境の中で好成績を残せたのは「生徒たちの心の成長、精神力が鍛えられたことも大きい」と赤池健監督。主将の林虎大朗さんは「大変な中で自分たちが頑張れたのは大牟田の皆さんのおかげ、結果で恩返しがしたかった」と笑顔で話してくれました。

自身も卒業生で、1988(昭和63)年、全国優勝した年に一年生部員だった赤池監督は、「あの時の喜びと感動を生徒たちにもぜひ味わせたい」と次を見据えておられます。



大牟田北高校 書道部 ～ 書道・感動・仲間づくり ～

2019(令和元)年8月に愛媛県で行われた第12回書道パフォーマンス甲子園の本戦に初出場初入賞(紫舟賞)に輝いた大牟田北高校書道部。テーマは「これが私」。この大会に出場したのは、現在2年生で部長の西田はるかさんと副部長の阿部さくらさん。「九州ブロック1位通過したと知って、あの八幡中央高校に勝ったんだと嬉しかった、先輩の思いも込めて頑張った」と話してくれました。13年間書道部を指導してられる松尾理恵子先生によると、「この大会は、上手に書くことよりテーマやストーリー性、発想や独創性を問う大会、卒業した生徒たちとチャレンジしてきたが、次点に泣いてきた」とのことです。



今年度は優勝を、と準備を始めていた大会は残念ながらコロナ禍で中止され、市内でのパフォーマンス披露などの機会も減ってしまいました。しかし、部員7名全員が、第35回福岡県高等学校総合文化祭書道部門地区揮毫大会特選で県大会出場。九州大会と全国大会への推薦者も出るなど元気に頑張っています。

誠修高校 バレーボール部 ～ 努力の上に華が咲く ～

誠修高校女子バレーボール部は、2020全日本バレーボール高校選手権大会福岡県大会で2年連続18回目の優勝を飾りました。11月の県大会に向けて頑張っていた7月、豪雨災害で校舎や新体育館、寮、洗濯場などが床上浸水し学業にも生活にも影響があり、練習も思うようにできませんでした。部長の東夏琳さんは、「保護者の皆さん始め多くの方々に助けていただき、感謝の気持ちで頑張ることができた」と話してくれました。16年間指導してられる高野秀樹監督は、「寮生活の中で生徒たちには自立心が育っている、現在、部員23人、1、2年生が多いので来年度の3連覇を目指したい」と決意を語っていただきました。

県代表として臨んだ新年1月5日からの春高バレー(第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会)では、一回戦、日立第二高校(茨城代表)相手に大接戦。セットカウント1:2で惜敗でしたが、最後まで諦めない素晴らしい試合でした。



編集後記 今回の表紙はスポーツ少年団、裏表紙は高校部活動です。新しい日常を強いられているスポーツ・文化の場面ですが、それぞれの目標に向けいろいろな工夫を施して部活動の皆さんは、チャレンジしています。そのような中で、本市の高校生が多くの立派な成果を上げてくれました。児童生徒の頑張る姿からは、いつもエネルギーをもらっています。(S)

■編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】三宅智加子 【副委員長】島野知洋

【委員】森竜子 山田修司 平山光子 崎山恵子

■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

■印刷 株式会社江崎印刷所